

# 泉大津市スポーツ施設運営委員会（第2回）

## ■第2回会議の議事概要

日 時：令和8年8月25日（火）午後2時～午後2時40分

場 所：泉大津市教育支援センター2階大研修室

出 席：富山委員、原田委員、木野委員、小池委員

竹内教育長

事務局：（教育委員会事務局）鍋谷局長、中山課長、梶川係長、西野係員

（都市づくり政策課）中野係長、矢橋係員

（地域経済課）奥土課長補佐

指定管理者：泉大津健康づくりパートナーズ

（代表企業コナミスポーツ株式会社）永野支配人

（構成企業大林ファシリティーズ株式会社）上田部長、森川課長

会議の公開 公開

傍聴者 0名

### 次 第

1 開 会 挨 拶

2 議 題

1）令和7年度泉大津市スポーツ施設事業内容の評価について

3 その他

4 閉 会

### 議事概要

## 令和7年度泉大津市スポーツ施設事業内容の評価について

項目ごとに総合評価を決定。

#### ●運営方針（総合評価 A）

→全委員 A 評価で異議なし。

#### ●事業計画の実施（総合評価 A）

→全委員 A 評価で異議なし。

#### ●法令・協定書等の順守、個人情報保護（総合評価 A）

→全委員 A 評価であったが、富山委員より質疑あり。

富山委員長：「労働法規等を遵守した適正な労働環境が確保されているか」については、報

告書のどこの記載を読み取ればよいか。

永野支配人：記載する部分はなかったが、三六協定を結んでいる。

富山委員長：次年度以降、項目追加を検討していただきたい。

中山課長：次年度以降はこの点について、項目を表記するよう改める。

●職員の配置及び実施体制（総合評価 A）

→全委員 A 評価で異議なし。

●連絡調整（総合評価 A）

→全委員 A 評価であったが、木野委員から質疑あり。

木野委員：連絡調整とは指定管理者から市への報告を指すか、もしくは相互であるか。

梶川係長：第一に指定管理者からの連絡調整と定義している。ただし、その先には相互に連絡調整ができているかという意味合いも含んでいる。

木野委員：月一の定例会において、議題にあった内容は全て合意で受けているか、それとも話し合いをしているか。

梶川係長：定例会では、人数報告、施設に関わるコスト（電気代等）、指定管理者の自主事業といった月次報告を受けている。また、提案のあった内容に疑義がある場合は、課内で検討したのち進めている。

●維持管理（総合評価 A）

→原田委員及び小池委員は B 評価、他の委員は A 評価。

原田委員：安全管理について、保守や点検について記載がなかったことと、事故が起こりやすいトレーニング室の職員の配置についての 2 点を確認したい。

森川課長：設備に関しては、法令を遵守して適正に検査を実施している。報告書には記載する場所がなかった。

富山委員長：法令にどのような項目があるかを記載するよう検討していただきたい。

永野支配人：トレーニング室に職員を常時配置していないという課題に対し、職員を常時配置するようにした。報告書の P.18(2) 目標達成の方策 3 点目に記載あり。

小池委員：スリッパの新調について、購入するなら購入する、しないならしないでマイスリッパの持参を周知することや、簡易スリッパの配置などを検討していただきたい。

永野支配人：スリッパを強要することは良くないと考えているため、現在もスリッパは配置している。全て新品に交換はしていないが、古くなった物から順に更新はしている。スタッフの中でもマイスリッパを持参するべきだといった声があるが、スリッパ忘れもあるため、完全に撤廃することは難しいと考えている。引き続き検討を進めていく。

●安全対策・危機管理対策（総合評価 A）

→全委員 A 評価で異議なし。

●経理の状況（総合評価 A）

→全委員 A 評価であったが、原田委員より質疑あり。

原 田 委 員：収支がプラスになっていることは良い結果であり、計画を上回り、利用が増えていることが考えている。還元金の 30%が発生したことも、市にとって良い結果であると捉えている。令和 8 年度の状況はいかがか。

永野支配人：7 月末時点では、大きな減少はない。令和 7 年度と同等の金額が見込めると推測している。

●利用者サービスの向上（総合評価 A）

→原田委員のみ B 評価、その他の委員は A 評価。原田委員より質疑あり。

原 田 委 員：A と B の評価で悩んだ。理由は 2 点あり。1 点目はトレーニング室の職員配置ができていないのではないかとということ（維持管理の項目にて解決済み）と、2 点目は利用者への周知徹底という点で、WEB 等を使用した告知をさらに強化するということへの期待を込めて B 評価とした。

永野支配人：イベントの開催や開催後の報告といった情報等をホームページに記載している。市の取り組みも体育館に掲載をしている。また、Instagram を専門の業者へ依頼し、定期更新。広報誌の活用。ナイトプールの宣伝では、地図で今来館している利用者の範囲を制限し、スタッフがポスティングを行った。

小 池 委 員：前回の施設運営委員会にて靴箱の色分けを提案したが、かなりの費用がかかるということを知った。高額な費用がかかるということであれば、そこまで求めてはいないので、簡単に分かりやすい色分けをし、履き間違い対策を取っていただければ問題なし。利用実績において、平均参加人数が 5 人以下の教室がいくつかあったが、継続していく予定か。なぜそこまで減少したか。時間帯の再考など検討してみることも良いと考える。

永野支配人：少人数の教室は、実際はクローズにしていくべきであるが、講師が今後人数を増やしていきたいという教室は、継続していきたいと考えている。赤字の教室もあるが、体験会を開きながら、新しい利用者を取り込んでいき、すぐにクローズしないよう検討していく。

小 池 委 員：広めていきたい教室等があれば、スポーツ推進委員として協力する。

木 野 委 員：見える化が進んでいると感じる。管理者の顔写真の掲示や、ハザードマップ・避難場所を掲示していることで見れば分かるようになっている。フロアの掲示板が利用できるようになり、団体の大会の案内等告知もできているが、各団体にはより情報を提供してもらうよう話をしていかなければいけないと考えている。空調期間が 6 月～9 月となっているが、今後も同期間でいくか、熱中症が出ていないかなどをお聞きしたい。

永野支配人：5 月からの空調利用の希望者はいなかった。今年は 6 月中旬から急激に暑くなったが、今後いつまで猛暑が続くかによるが、生涯学習課と相談しながら進めていく。

項目以外の意見を委員に求めた。

原 田 委 員：指定管理者の目から見て、泉大津市のスポーツ施設のポテンシャルはどのように考えているか、評価しているかをお聞きしたい。

永野支配人：伸びると判断をし、提案をしている。まだまだ伸びしろがあり、屋外施設はもっと活用できる。これまでの使い方以外も、提案できるのではないかと考えながら、ポテンシャルはあると判断している。

小 池 委 員：ナイトプールの状況はどうだったか。

永野支配人：当日は雨であり、台風も到来した。8月12日は平日であったが、1日あたりの利用者は146名。18時以降の利用者は70名。11時からナイトプールまでいた人もいる。当日はスイカ割りも実施。ナイトプールは、需要があると考えている。理由としては、日焼けをせずにプールを利用できることが一番大きいと思う。7月初日は雨のスタートで、利用は前年を下回る日が続いていたが、8月時点では前年に追いついた状態で推移している。コナミの他の屋外施設のプールの利用も年々減っている。ナイトプールについては、手応えがあったと感じており、大きな手段だと考えている。

## その他

指定管理者より、各種報告あり。

永野支配人：ナイトプールは、高校生以上が32名、中学生以下が38名の合計70名がナイトプールだけの利用で来られた。その場の人数は約100人いた。阪神高速がきれいに見えて雰囲気良かった。あひるの宝探しイベントも高評価を得ている。また、ピックルボールの体験会を実施しており、定員8名枠のところ7名の参加があり、好スタートで滑り出している。10月以降に定例化できるよう進めている。

以上